

しに車を走らせたり、伊丹から京都などの  
全所轄警察署に手配をしてくれたりした。  
しかし、三日間何の手掛りも得られぬまま  
であった。さいごに、かれらは新聞に訴え  
た。京都、毎日、読売の三新聞が記事にし  
てくれた。ところが、あの台風の夜、一人  
の若い工員が大阪の関目のガード下でこの  
鞆を見つけていた。かれは家に持ち帰り奥  
さんと共に乾かし、翌朝城東署に届けてい  
たのである。城東署は伊丹―京都のコース  
の外だったので電話手配は及んでいなかっ  
たため、持主不明のまま二日間空しく保管  
されていた。大阪府警の外事課員が鞆の内  
容の判読を依頼されたとき、かれは右の新  
聞記事を読んでいた。

四日目の夜、わたくしは城東署で親切な  
拾得者竹下敏雄さんに会った。そしてわた  
くしの感動を最高度に高めたのは、鞆の内  
容がほとんど損われずに戻ったことと共に  
竹下さんがわたくしの用意した謝礼をどう  
しても取ってくれなかったその真実な態度  
であった。たまたま鞆の中に入っていたマ  
ッターホルンの壁掛けを進呈し固い握手を  
何度もして別れたが、この素材さと善意に

充ちた青年への感謝は、この事件のために  
心痛し同情しあらゆる策を講じてくれた友  
人、新聞記者、警官たちへの感謝と共に、  
この原稿によって講義をし著述をするとき  
に絶えず新たにわたくしの胸によみがえる  
ことであろう。

(訳・遠藤彰)  
(チューリヒ大学教授、神学部訪問教授)

### 東南アジアの 貧困と協同組合

仲尾 宏

東南アジアをまわってみて、この地域一  
帯に普遍的にひろがっている貧困について  
語らぬ人はいないであろう。たとえ数日間  
のおのぼりさんのような観光旅行を楽しん  
だとしても、観光客が訪れる名所や遺跡、  
また大きなホテルや空港には必ずずといっ  
ていくらい、つきものとなっている物乞  
いをするおびただしい人々の姿に心を痛め  
ぬ人はいないにちがいない。ぼくはことし  
の七月にセイロンのヌワラエリヤでひらか  
れた協同組合セミナーに参加し、そのあと

### 女郎花

猿丸 葆光

(校友・猿丸元氏夫人)

女郎花高く月負ふ箱根山

肉あつき葉にこぼれつく花ハツ手

みかん食う口とがらすも一人旅

夜は夫にまつはり蹤けり火蛾と共に

夕燒の雲に消さるる遠火花

望遠鏡に傾き入りぬ若布巾

大徳寺

今年竹低き土塀も紫野

母の瞳が枯野を走り食堂車

一条の枯色走る母見舞

風花や海着ければ日もすがら